

# ‘甘平’の裂果対策①灌水の量と頻度

甘平の裂果軽減の前提条件は、開花期(5月)から果汁増加期(9月)までの少量多頻度灌水。この時期に土壌を一度でも乾燥させると、そのシーズンの果実は、割れやすい果実となるため、酷暑期に乾燥しない灌水量とすることに留意。

## 灌水量と灌水頻度



多量灌水区

根域全体に灌水するため、渦巻型で灌水チューブを配置。

◆多量灌水  
チューブ長14m  
6.9mm/樹・20分

◆少量灌水  
チューブ長7m  
3.5mm/樹・20分

◇多頻度灌水  
1日3回  
(20分×3回【朝昼晩】)

◇少頻度灌水  
1日1回灌水  
(20分×1回【朝】)



少量灌水区

## 灌水方法と収量・果実品質(R3年産)

試験区	収量 (kg/m <sup>3</sup> )	一果重 (g)	糖度 (°Brix)	クエン酸 (g/100ml)	果皮色 (a値)
多量多頻度灌水区	4.0	202	14.2	1.56	15.8
少量多頻度灌水区	3.8	192	14.6	1.47	15.6
多量少頻度灌水区	4.0	190	14.1	1.52	17.1
少量少頻度灌水区	3.5	187	15.0	1.58	13.8
有意性*	ns	ns	ns	ns	ns

\* 有意性:Tukeyの多重検定 ns有意差なし

調査日:2022.1.13

収量・果実品質について、有意な差はなかった。

## 灌水方法と肥大(R3年産)

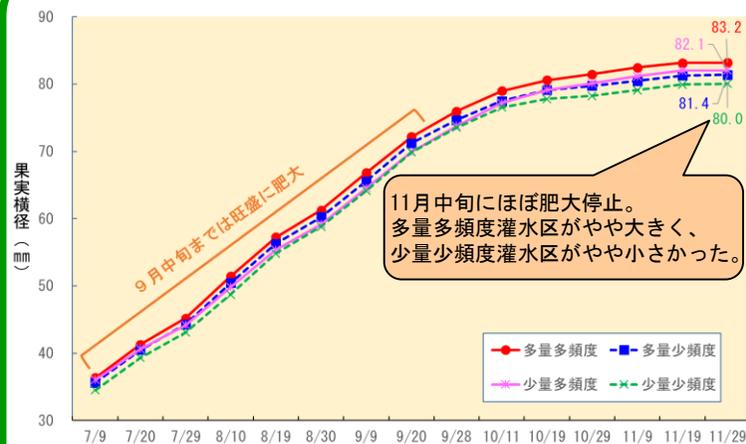


図1 灌水量・灌水頻度と果実肥大

果実横径は試験区間に有意な差はなかったが、灌水量が多いほど大きい傾向。

少量少灌水区でも80mmを超え、ネーブル階級で2L(80~88mm)となった。

## 灌水方法と裂果率(R3年産)

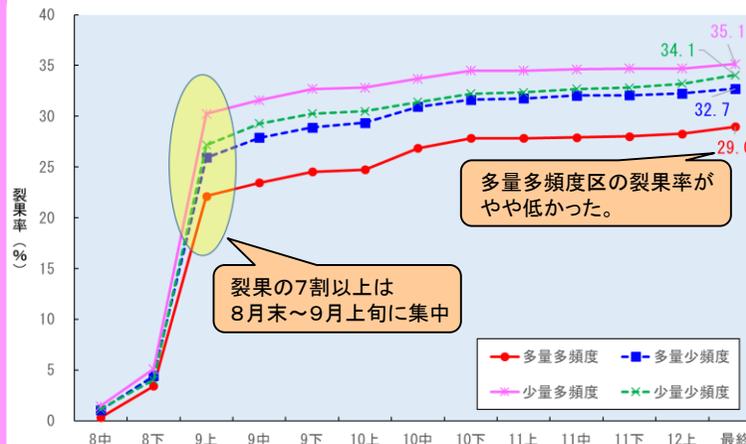


図2 灌水量・頻度と甘平の裂果率

R3年度は、全区で3割程度となった。

3.5mm/日以上の継続的な灌水により、土壌水分の変化を小さくすることで、裂果の発生を抑制できた。

裂果は気象条件に左右されるため、継続して検討する。